

7月19日(月)

恐れか 信仰か?

聖書朗読 詩篇56:3~13

あなたが受けようとしている苦しみを恐れてはいけな、死に至るまで忠実でありなさい。そうすれば、わたしはあなたにいのちの冠を与える。

黙示2:10

「最悪の罪は恐れである」という言い方を聞いたことがありますか。なぜでしょうか。それは、恐れは信仰の真逆だからです。「恐れは罪である。なぜならそれは私たちの主のみことばを疑うことだからである」とさえ言う人もいます。恐れは私たちの言動を止め、混乱させ、失望させます。

私たちの必要を満たしてくださいという神の強さに立った信仰と神様からの豊かな恵みは、私たちの人生に不可欠のものです。それによって神様と私たちは深いところで繋がります。ヤコブが信仰的な祈りについて書いた時、(ヤコブ1:6~8)彼は恐れを偉大な敵と定義づけました。恐れは信仰を揺るがします。信仰を失わせます。恐れは、自分自身が主を信じていることを隠そうとさせます。

私たちがエステルやダニエルやペテロなど信仰の英雄たちについて読む時に、彼らの大胆さと勇気に感嘆します。それは一般的に言われる勇気とは違いました。それは、彼らが信頼する、目に見えない生きておられる神様を信じる信仰でした。

第一ペテロ3章15節から16節にこう書かれています。

「あなたがたのうちにある希望について説明を求める人には、だれにでもいつでも弁明できる用意をしておきなさい。ただし、優しく、慎み恐れて、また、正しい良心を持って弁明しなさい。そうすれば、キリストにあるあなたがたの正しい生き方をのしる人たちが、あなたがたをそしったことで恥じ入るでしょう。」

讃美歌 270

祈り 親愛なる父よ。あなたが聖書の中で教えてくださったように、人ではなく神様に信頼しますように。

イエス様のお名前でお祈りします。アーメン。

マーク・R・ゲイ

カルフォルニア州 バレーホ

今日の力

2021年7月19日~7月25日

翻訳 ハンコック・真由美

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

7月20日 (火)

世界が衝突する時

聖書朗読 詩篇57篇

神よ。あなたが、天であがめられ、あなたの栄光が、全世界であがめられますように。
詩篇57：5、11

2つの世界、2つの現実が詩篇57篇で衝突しています。一つは、詩人も言っているように罾を仕掛けられた厳しくて傷を負うような世界です。3節では、人々が詩人を踏みつけています。4節では、貪欲な獅子たちが詩人を貪り食おうとしています。6節では、彼の敵が罾にかけようとしています。耐え難く冷たい世界です。どこかで聞いたことがありますか。

しかし、もう一つの世界があります。それもまた現実の世界です。それは神様がめぐみとまことを持って（3、10節）統べ治められる世界です。詩人はこの神様に最大の信頼を寄せて訴えています。痛みや恐れを否定することなく、彼は全てを支配し全てを気に掛けてくださる神様を声高らかにあがめています。

詩人の言葉は、「暗闇で囁く」ものではないし、諦めてしまうものでもありません。そうではなく、詩人は「私のために全てを成し遂げてくださいる神様」（2節）であり「天から助けを送ってくださいる神様」に身を任せました。神様が応答してくださるという自信があるので、救いが実際に来る前に大声で神様をほめたたえました。

「あなたの栄光が全世界であがめられますように」（詩篇57：5、11）は、普遍的な賛美です。それは暁を呼び覚ます（8節）ほどの大きな叫びです。私たちが「アーメン」と叫ぶものでもあります。

讚美歌 280

祈り 全知全能なる神様。あなたをほめたたえます。あなたの義なる支配が世界中に知れ渡り、私の心の中に染み渡りますように。

あなたのひとり子のお名前でお祈りいたします。アーメン。

ポール・ワトソン

ノースキャロライナ州 ダーハム

7月21日 (水)

彼は私の岩である

聖書朗読 詩篇62：1～7

神こそ、わが岩、わが救い、わがやぐら。私は決して揺るがされない。
詩篇62：2、6

誰にでも石集めをした時期があるのではないのでしょうか。それは1個の石かもしれないし、たくさんの石かもしれません。大きな石かもしれないし、小さな石かもしれません。今もその石を持っている人がいるかもしれません。私もそういう石を持っています。その石がある人物を思い出させてくれたり、ある場所を思い出させてくれたり、経験を思い出させてくれたりします。特別な学びを思い出すために取ってある石もあります。飾りとして置いている石もあります。しかしながら、私は自分を石の収集家とは思っていません。

もし、私たちが石について話すなら、神様のことを話さない訳にはいきません。私たちが本当に堅固で揺るがないものを求めるとしたら、神様のもとに行かなければなりません。神様は暖炉の棚の上に飾り時々眺める石とは違います。彼は大いなるちとせの岩であり、大波に何度も打たれても風化した痕跡が全くない難攻不落の砦であります。雲の上にそびえ立つ高い山で逞しく強いお方です。ラシュモア山の4人の米大統領の肖像を見て私たちは驚嘆します。神様は永遠の命の肖像画を描いて私たちに驚嘆させています。もしあなたが石の収集をしていなくても、せめてこの石を持っていて欲しいのです。神様という石を！

讚美歌 260

祈り ああ神よ。私の岩であり、救いでられる方！吹き荒む嵐からお救いください。しっかりした大地に私を置いてください。あなたの道に導いてください。あなたの力と愛は私を圧倒します。永遠に私の味方でいてくださり、悪魔の深みから引き上げてくださってありがとうございます。あなたは私の主です！

イエス様のお名前によって。アーメン。

ジェス・ピーターソン

テキサス州 ラボック

7月22日(木)

悪を選ぶ自由

聖書朗読 詩篇62:8~12

神は一度告げられた。二度、私はそれを聞いた。力は、神のものであることを。主よ。恵みもあなたのものです。
詩篇62:11~12

私は子供の頃、世の中の流れに敏感でした。父や叔父たちが第二時世界大戦で戦い命の危険にさらされていたからでしょう。毎週ニュース映画を見ましたが、ヒットラーやムッソリーニのようなモンスターの顔を見ては自分の無能さを感じ、布団の中に入れて眠りについたものです。

神様は強い方だと聖書クラスで教わった話を知っていました。神様はダビデを助けてゴリアテをやっつけたとか、神様はサムソンが神殿を打ち壊すのを助けたではありませんか。しかし、愛?愛なる神様がどうして残虐な戦争をそのままにしているのでしょうか。

そのような質問はもっとあるのですが、しっかりと神様を知ることによって神様の最も重要な愛を見ることに導かれます。イエス様は十字架上で私たちの罪を負って下さり、確かに罪をも負って下さり、最も醜い罪をも贖って下さいました。神様は私たちが罪を犯すをことをこともできました。でもそうはなさらず、その代わりに彼は罪を赦すために死ぬことを選んだのです。私たちの魂は、自由な選択を与え続けて下さる、強くて愛なる神様に真の錨を(アンカー)を見出すのです。

讃美歌 248

祈り 聖なるお父様。私たちに選択する自由を与えて下さりありがとうございます。しかも私たちを赦すことを選択して下さり感謝いたします。あなたの強さと愛が無くては、私たちは全く何もできません。

ひとりひとりに赦しを与えて下さった方のお名前を通してお祈りします。
アーメン。

ケイ・バーナム・エヴァンズ
テキサス州 ラボック

7月23日(金)

信仰的な考え

聖書朗読 詩篇63篇

あなたにとっては、やみも暗くなく 夜は昼のように明るいのです。暗やみも光も同じことです。
詩篇139:12

逆境の時に備えて信仰的な考え方を養っておく必要があります。最近こういう短い漫画を見ました。祖父母が病院の新生児室で赤ちゃんを見ています。祖母がこう言いました。「どうして、みんな揃って泣いているのかしら?」そうすると祖父が新生児室の出口のドアを指差しました。そこにはこう書いてありました。「警告!ここから出ると人生は不公平であることが分かります!」つまり、「あれを見て泣いてるんじゃないかい」と祖父。

問題ごとは絶え間なく起こります。詩篇の中でさえ。特異な環境にあった詩人は正しく問題と関わりました。何事も神様から隠れることができないことは感謝なことです。

詩篇63篇で 詩人は自身の必死な必要をはっきりと表現しました。そして、彼は導いてくれて、慰めてくれて、それを聞いてくれる相手を知っていたのです。詩人は問題を必要以上に大げさにして、神様への信仰を薄っぺらにすることはしませんでした。彼は落胆や厳しい苦難を通して逆境の時にいつでも信頼できるお方を知っていたのです。

英語の讃美歌にこんな歌詞があります。「神様以外に誰を頼ることができるだろうか」

讃美歌 291

祈り ああ、神であられる主よ。私たちの信仰を保ってくださいありがとうございます。

イエス様のお名前を通して。アーメン。

ラリー・ケイン
テキサス州 ダラス

